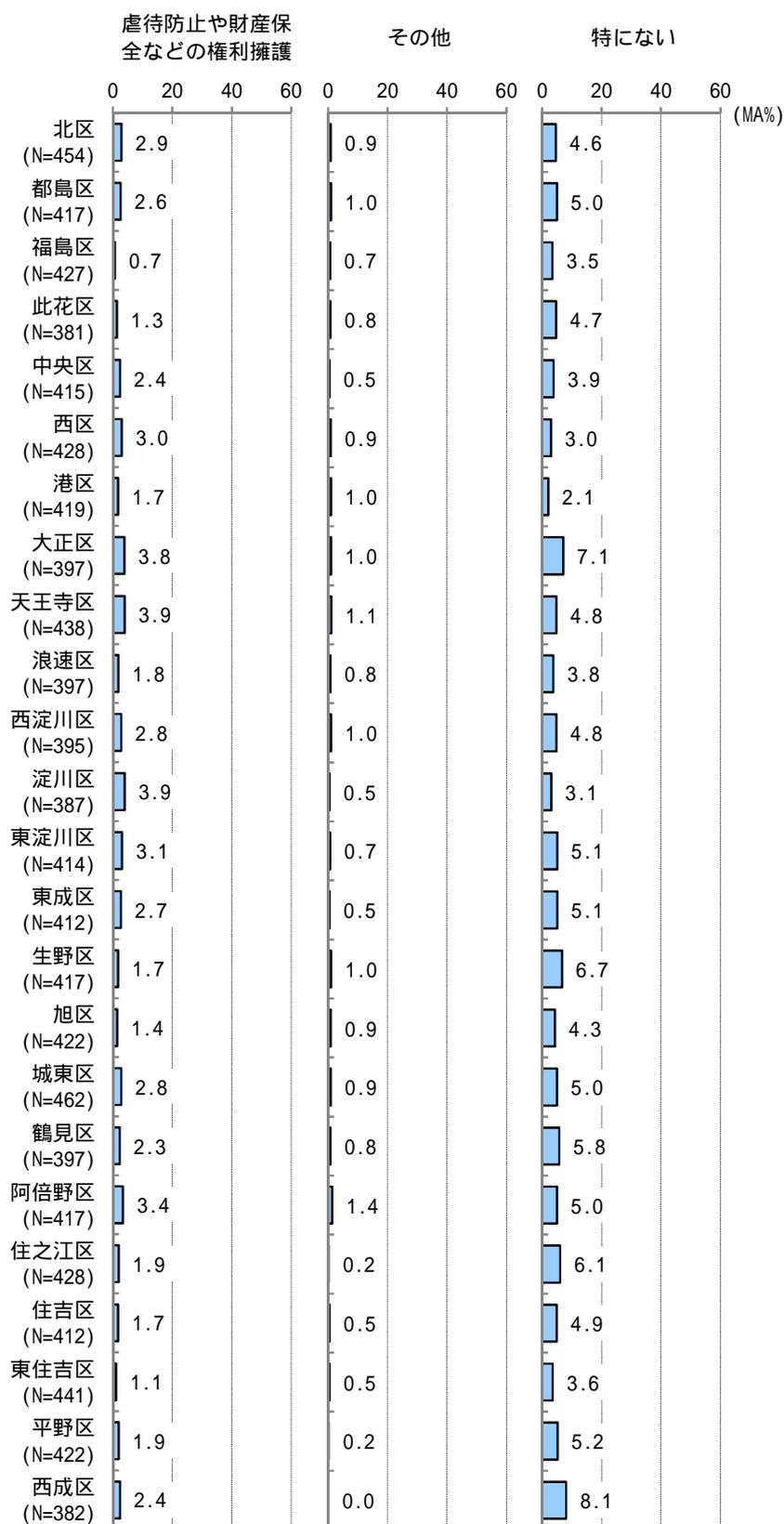


【図45-b 重点を置くべきと考える高齢者施策（居住区別）】

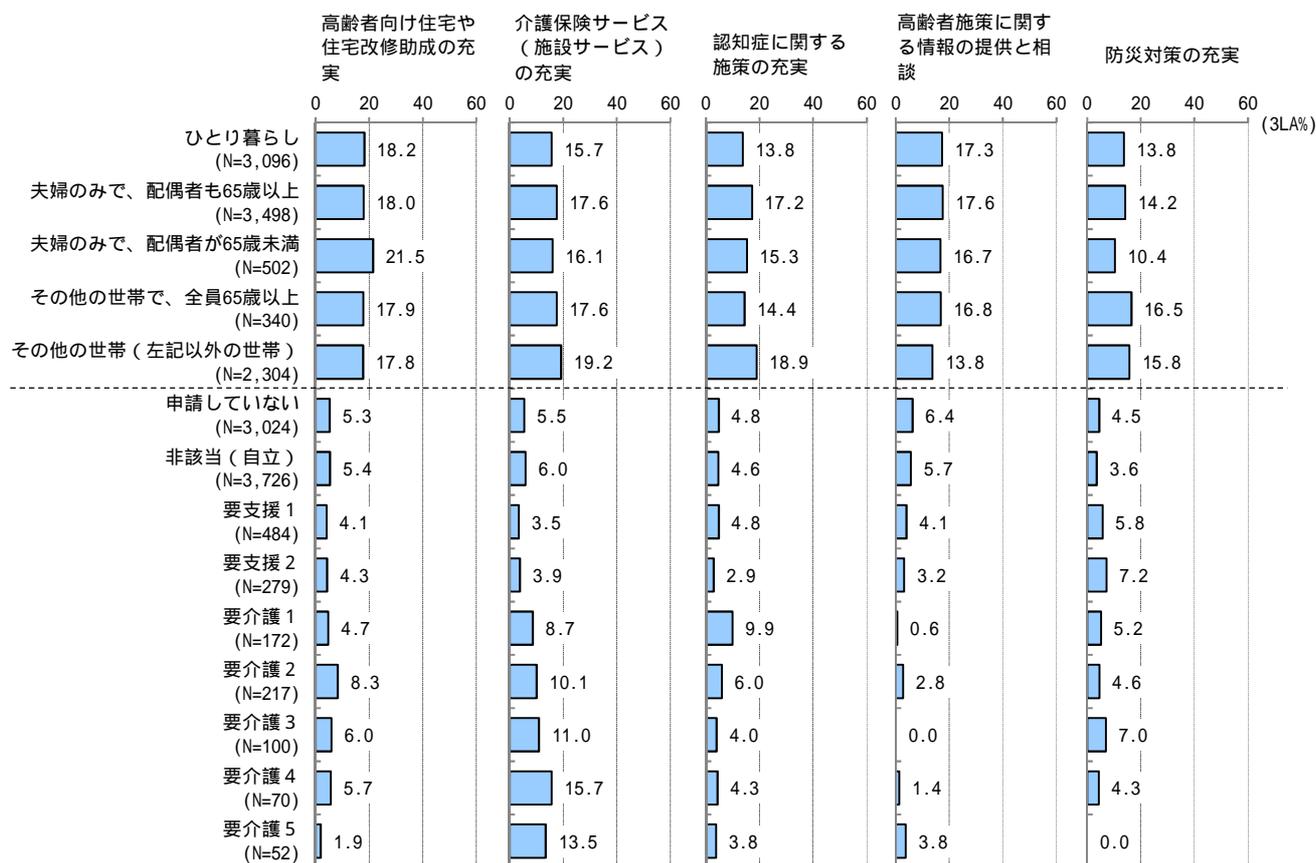
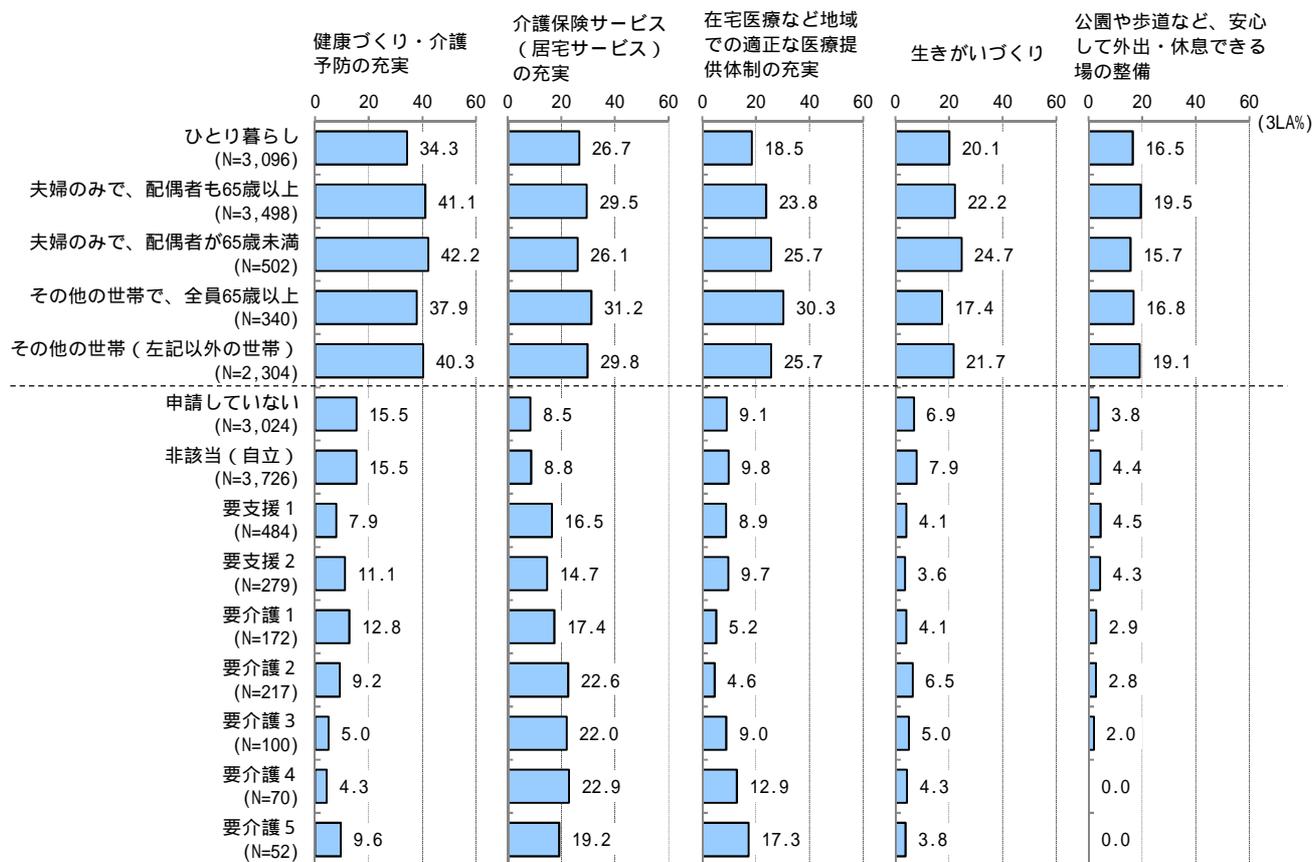


世帯状況別で見ると、どの施策においても“ひとり暮らし”世帯の回答割合は概ね低くなっている。

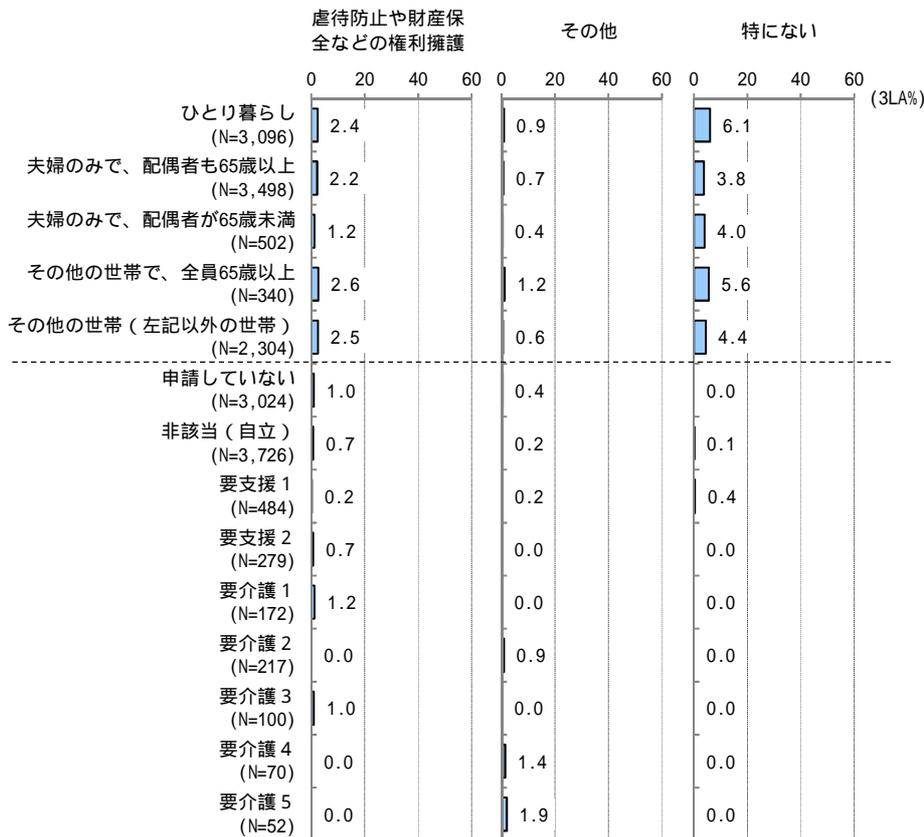
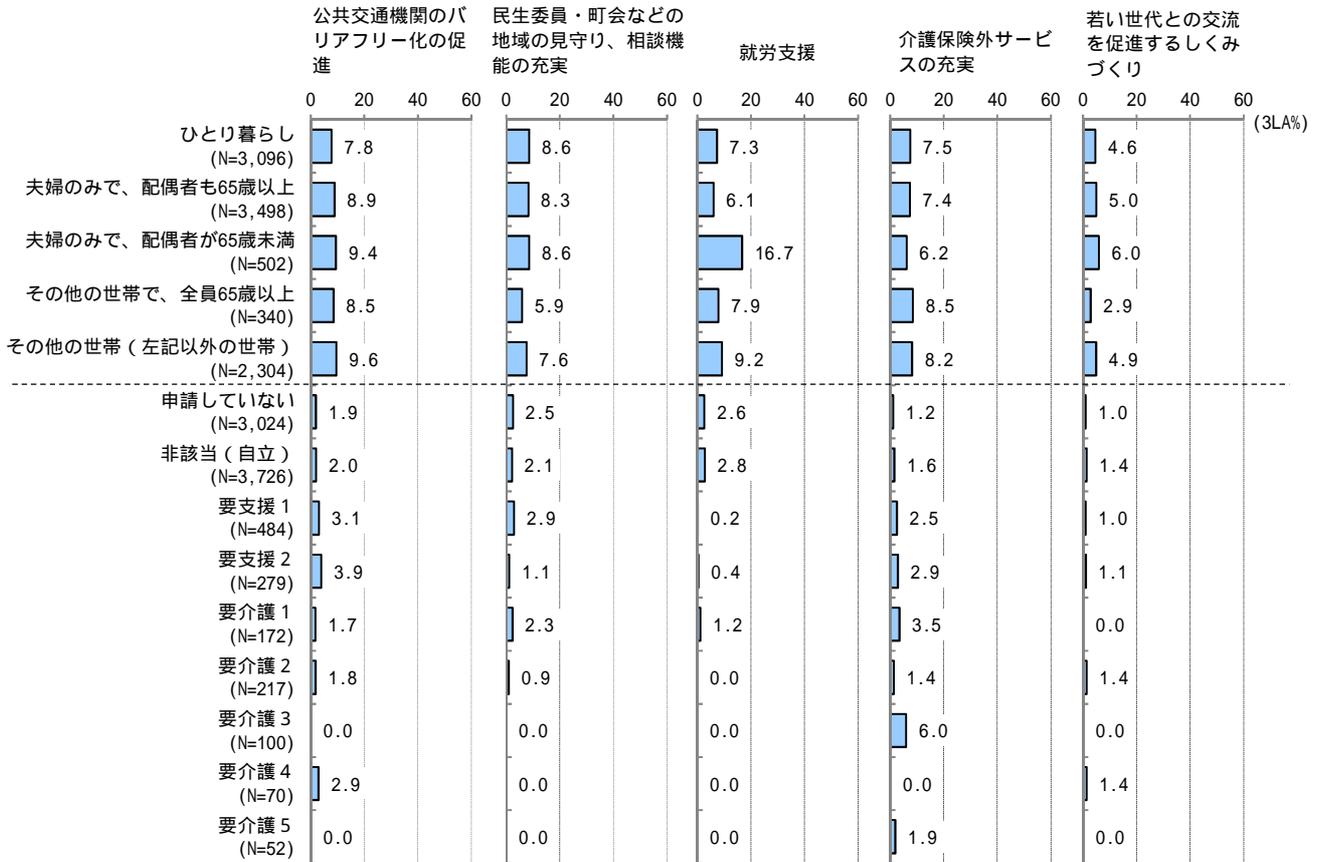
介護度別で見ると、「介護保険サービス（居宅サービス）の充実」の回答割合は要介護2～4で2割台と高く、「在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実」や「介護保険サービ

ス（施設サービス）の充実」では重度になるほど概ね高くなっている。（図45-c ）

【図45-c 重点を置くべきと考える高齢者施策（世帯状況別・介護度別）】



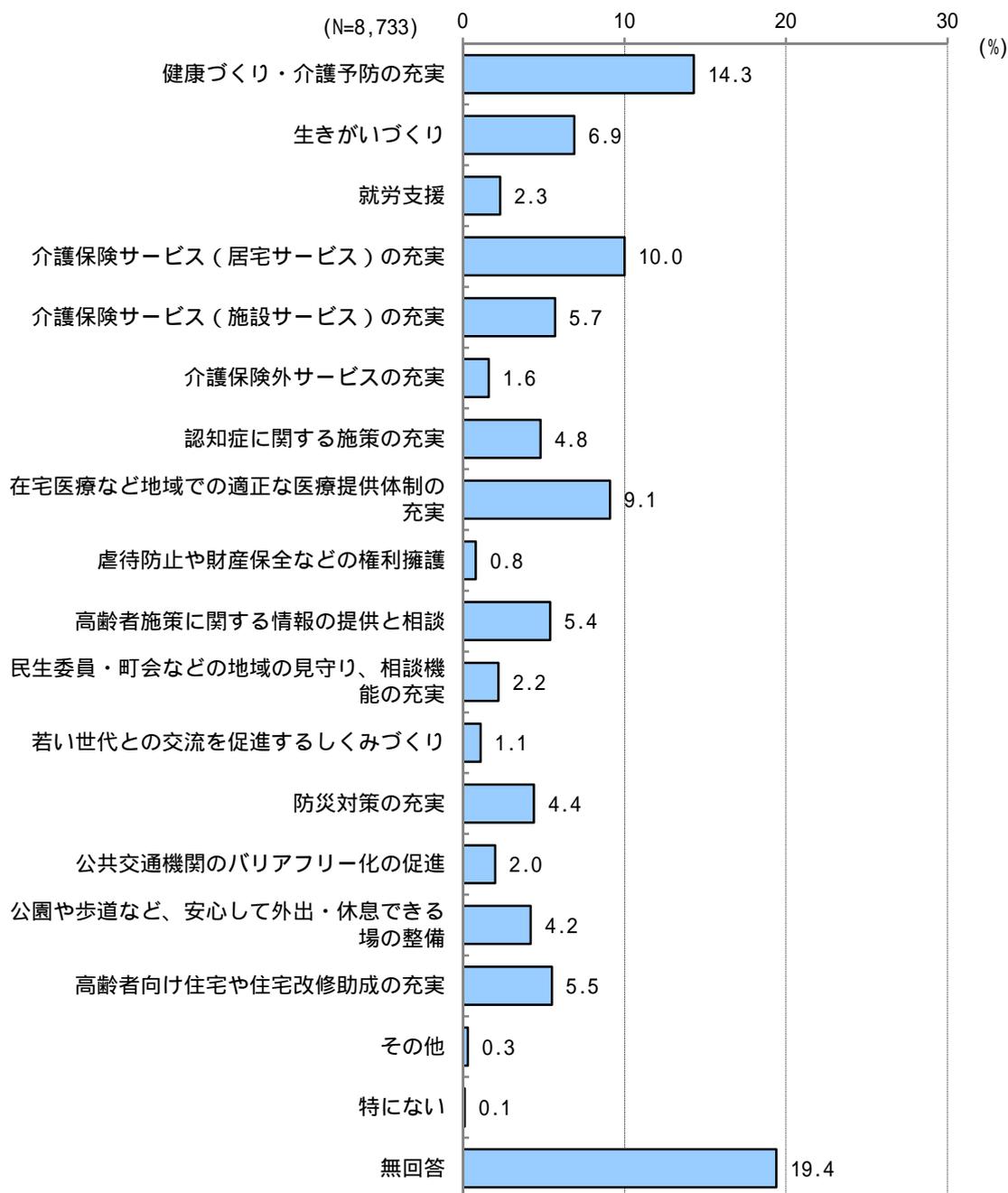
【図45-c 重点を置くべきと考える高齢者施策（世帯状況別・介護度別）】



問45 特に重点を置くべきと考える高齢者施策

また、 をつけた中で特に重点を置くべきだと考えるものはどれですか。番号を1つだけお書きください。

【図45 特に重点を置くべきと考える高齢者施策】



高齢者のための施策として重点をおくべきものの中で、特に重点を置くべきものは、「健康づくり・介護予防の充実」が14.3%で最も多く、次いで「介護保険サービス(居宅サービス)の充実」(10.0%)、「在宅医療など地域での適正な医療提供体制の充実」(9.1%)となっている。(図45)

(9) 高齢者施策に関する意見・要望など(自由記述)

大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。

最終報告書にて掲載

ひとり暮らし 編

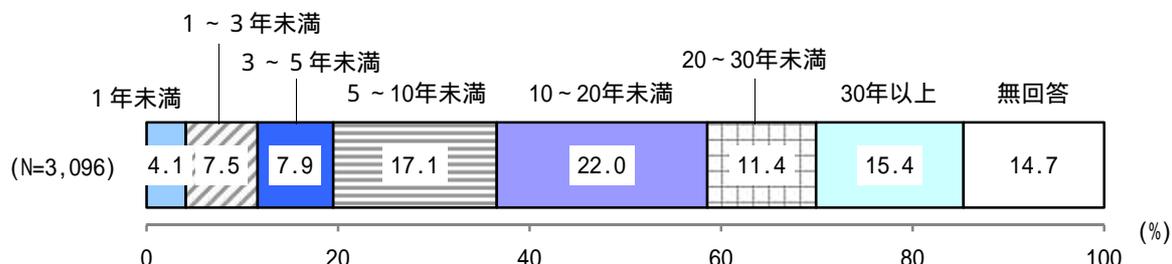
3 ひとり暮らし調査結果

(1) ひとり暮らし調査

問1 ひとり暮らしの期間

ひとりでお住まいの期間はおよそ何年間ですか。(はひとつ)

【図1 ひとり暮らしの期間】

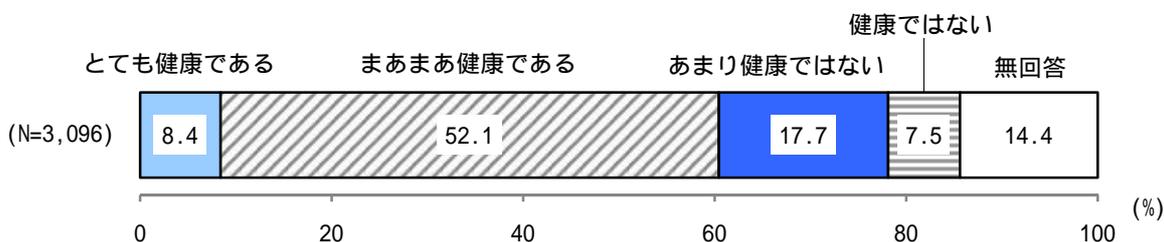


ひとり暮らし世帯の回答者の「ひとり暮らしの期間」については、「10～20年未満」が22.0%で最も多く、次いで「5～10年未満」(17.1%)、「30年以上」(15.4%)となっている。(図1)

問2 健康状態

あなたの健康状態についてお答えください。(はひとつ)

【図2 健康状態】



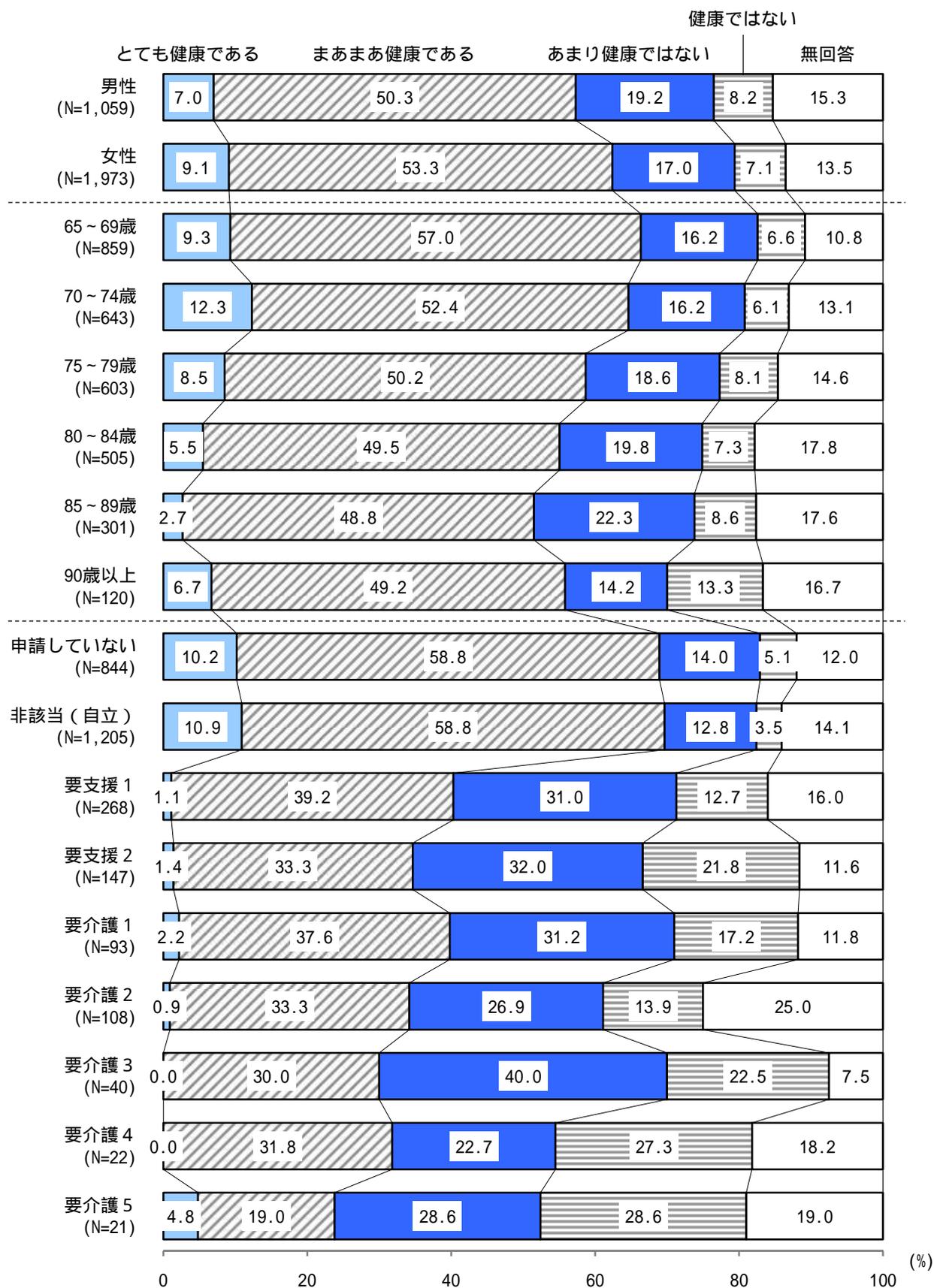
ひとり暮らし世帯の回答者の健康状態については、「まあまあ健康である」が52.1%で最も多く、次いで「あまり健康ではない」が17.7%となっている。「とても健康である」(8.4%)と「まあまあ健康である」をあわせた『健康である』は、60.5%となっている。(図2)

性別でみると、それほど大きな差はないが、男性の方が『健康である』の割合が低い。

年齢別でみると、高齢になるほど健康ではないとの回答割合が高くなっている。

介護度別でみると、「申請していない」「非該当(自立)」は、『健康である』が7割前後と高い。一方、概ね介護度が上がるほど、健康でないとの回答が多くなっており、要介護3では「あまり健康でない」との回答が4割と他の介護度より高くなっている。(図2-a)

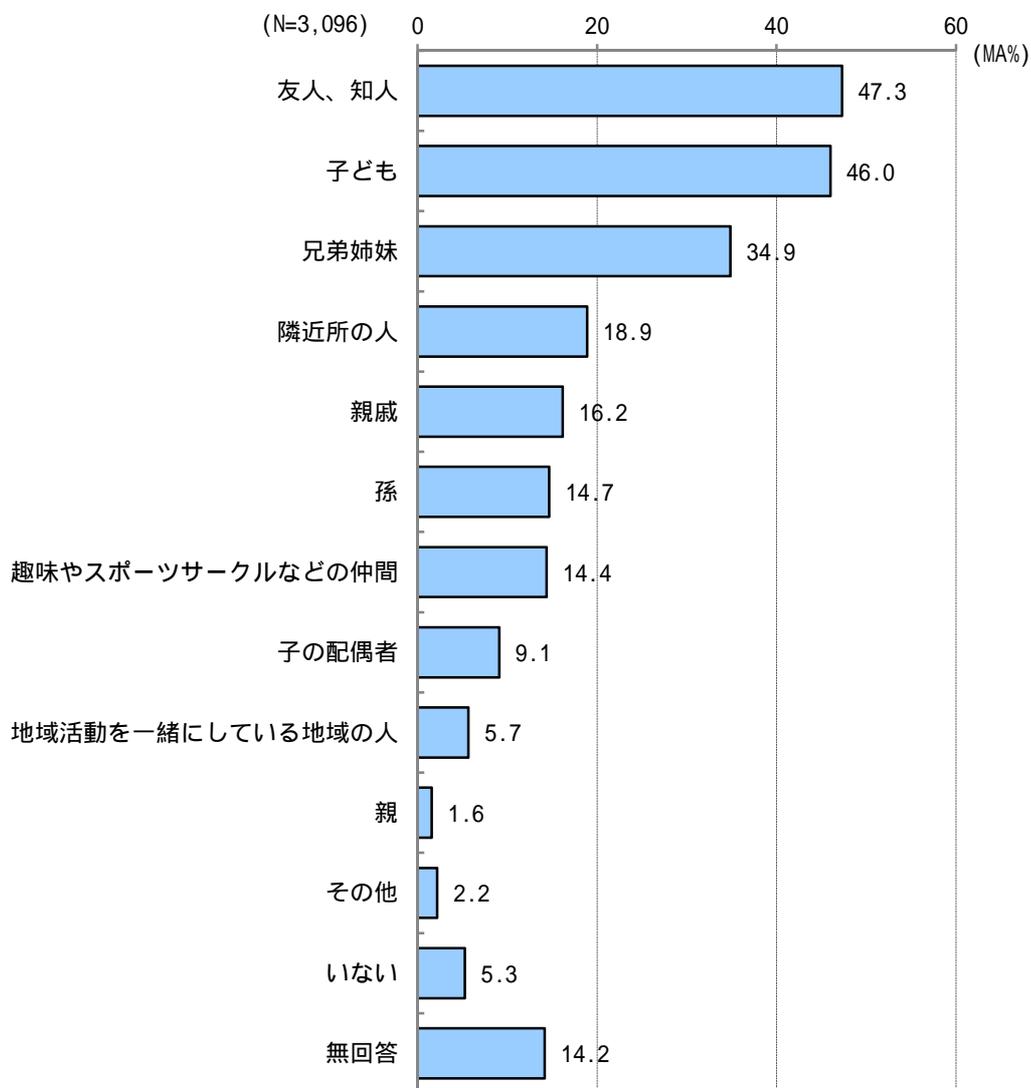
【図2-a 健康状態（性別・年齢別・介護度別）】



問3 日頃行き来したりする方

あなたは、日頃、電話などを含め連絡を取り合ったり、行き来したりする方はいらっしゃいますか。(はいいくつでも)

【図3 日頃行き来したりする方】

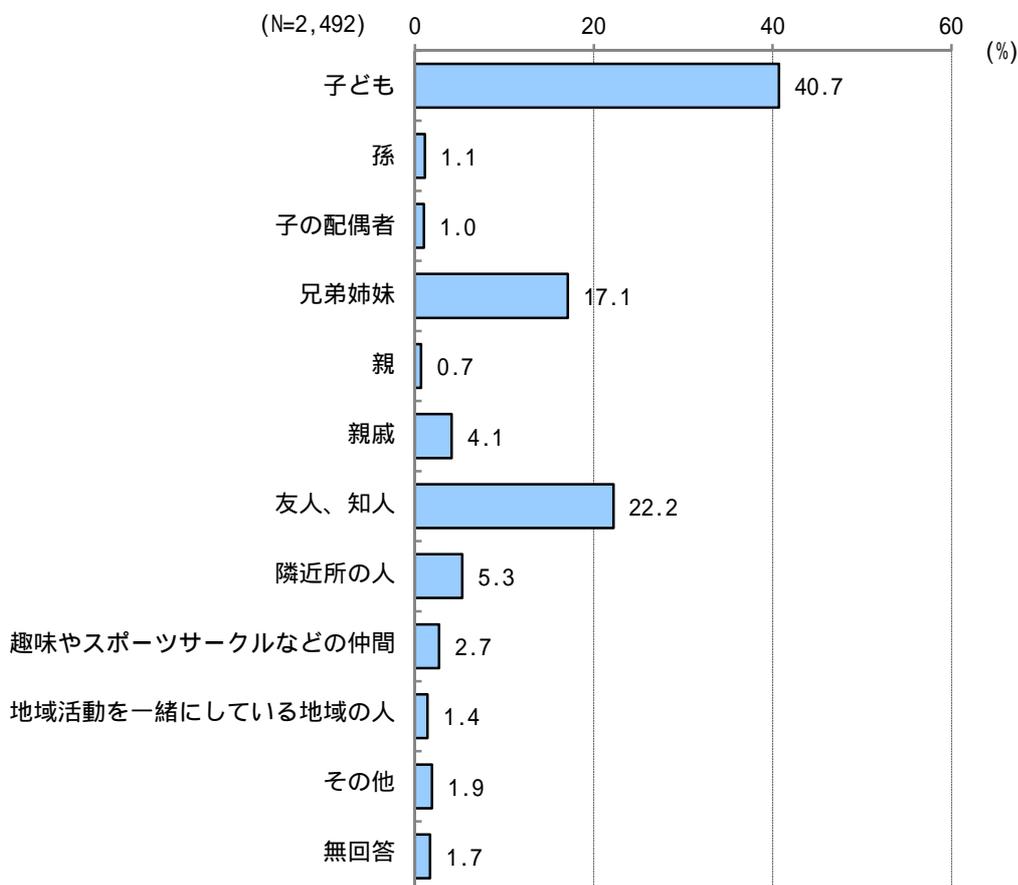


ひとり暮らし世帯の回答者の電話などを含め連絡や行き来する方については、「友人、知人」が47.3%と最も多く、次いで「子ども」が46.0%となっている。一方、日頃誰とも行き来のない「いない」は5.3%となっている。(図3)

問4 もっともよく行き来している方

問3のうち、あなたが、もっともよく行き来したり、親しくしている方はどなたですか。(はひとつ)

【図4 もっともよく行き来している方】

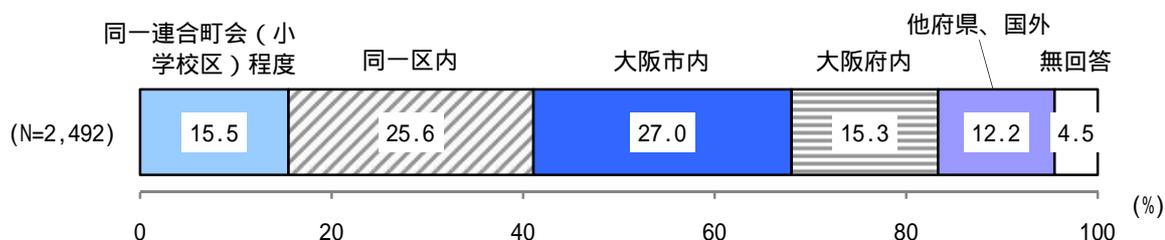


最もよく行き来している相手については、「子ども」が40.7%と最も高く、次いで「友人、知人」(22.2%)、「兄弟姉妹」(17.1%)となっている。(図4)

問5 もっともよく行き来したりする方の家の場所

もっともよく行き来したり、親しくしている方の家はどこにありますか。(はひとつ)

【図5 もっともよく行き来したりする方の家の場所】

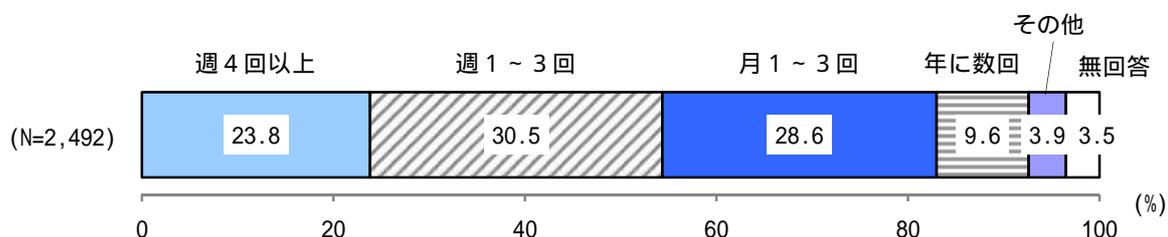


もっともよく行き来している相手の家の場所をたずねると、「大阪市内」が27.0%と最も多く、次いで「同一区内」が25.6%となっている。(図5)

問6 もっとも親しくしている方との行き来の頻度

もっともよく行き来したり、親しくしている方とはどのくらいの頻度で連絡したり行き来したりしていますか。(はひとつ)

【図6 もっとも親しくしている方との行き来の頻度】



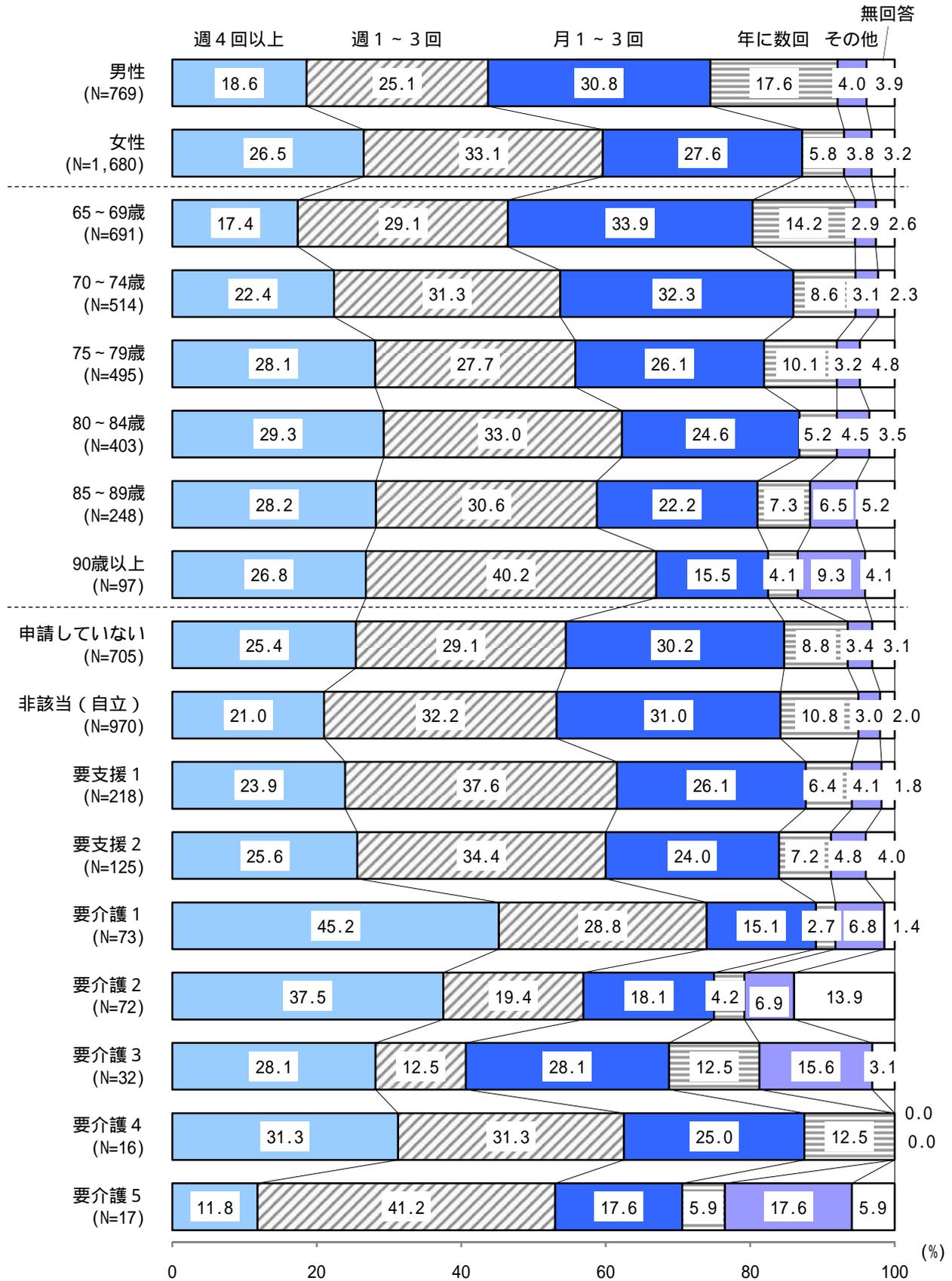
ひとり暮らし世帯の回答者のもっとも親しくしている方との行き来の頻度については、「週1~3回」が30.5%で最も多く、次いで「月1~3回」(28.6%)、「週4回以上」(23.8%)となっている。(図6)

性別でみると、男性よりも女性の方が人との行き来の頻度が多い。また、「年に数回」との回答は、男性の方が割合が高い。

年齢別でみると、週1回以上は行き来がある人は高齢になるほど高い割合となっている。

介護度別でみると、週1回以上は行き来がある人は要介護1で最も割合が高く、要介護3で最も低くなっている。(図6-a)

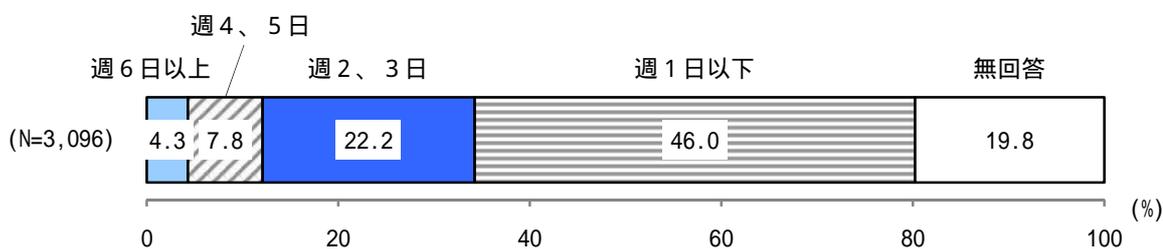
【図6-a もっとも親しくしている方との行き来の頻度（性別・年齢別・介護度別）】



問7 誰とも話をしない日は週に何日か

あなたが、1週間のうち、誰とも話をしない日は何日くらいですか。(はひとつ)

【図7 誰とも話をしない日は週に何日か】



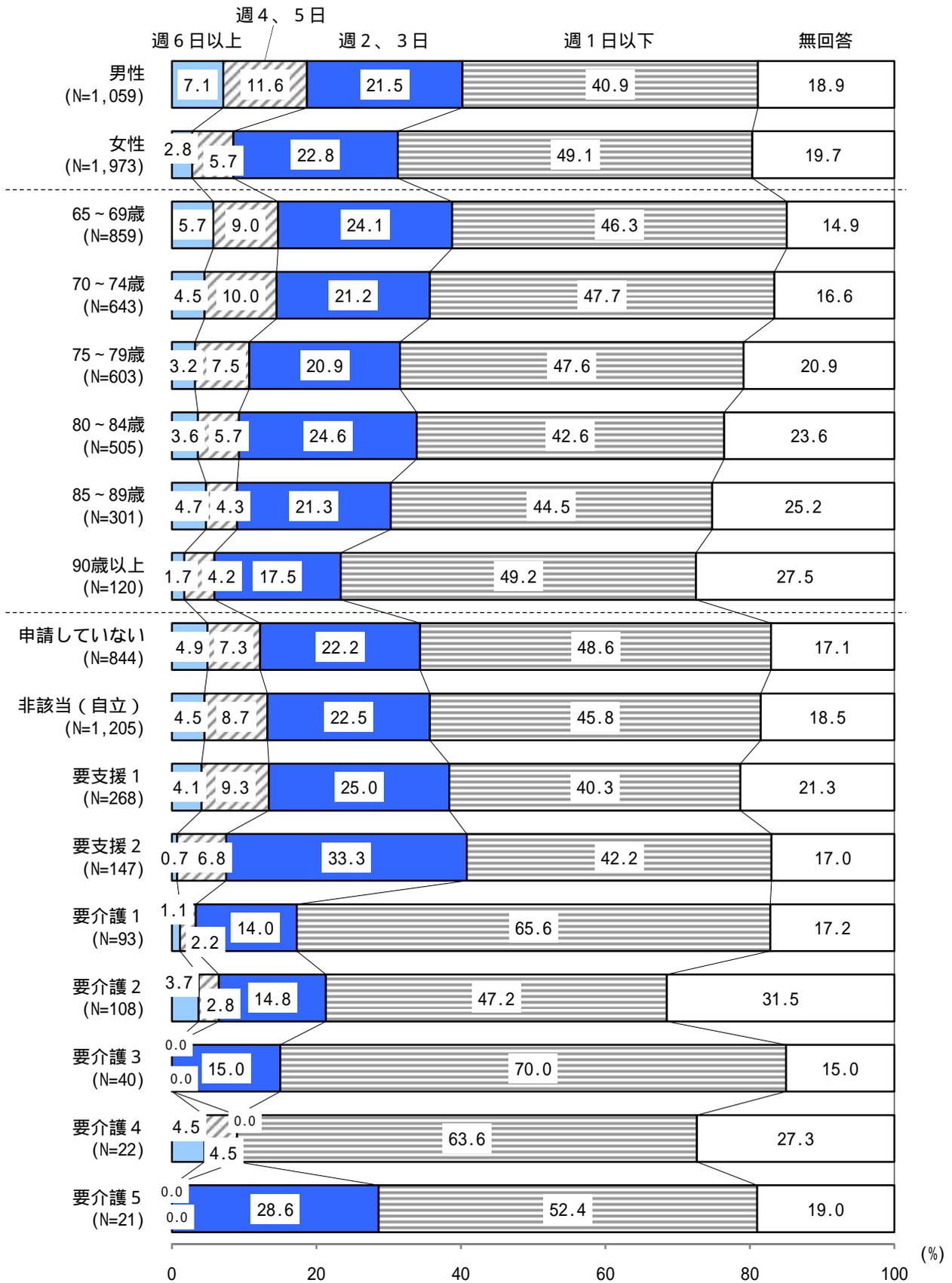
ひとり暮らし世帯の回答者の、誰とも話をしない日は週に何日かについては、「週1日以下」が46.0%で最も多く、次いで「週2、3日」(22.2%)となっている。また、誰とも話をしない日が週のほとんどである「週6日以上」は4.3%となっている。(図7)

性別でみると、「週6日以上」は、女性より男性の方が割合が高い。

年齢別でみると、「週6日以上」は、65～69歳が最も高く、次いで70～74歳となっている。

介護度別でみると、「週6日以上」は、申請していない、非該当(自立)、要支援1、要介護4で4%台となっている。(図7-a)

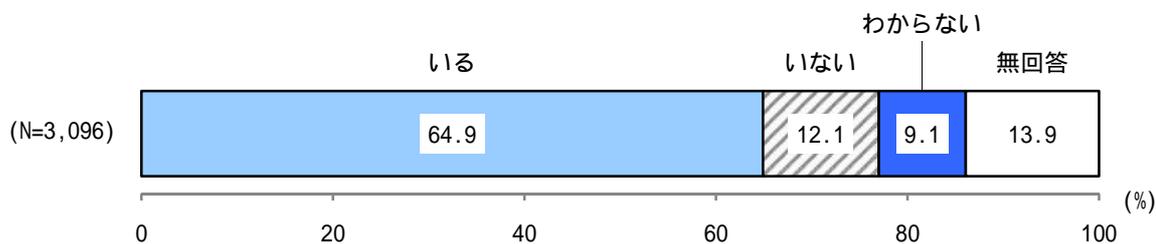
【図7-a 誰とも話をしない日は週に何日か（性別・年齢別・介護度別）】



問 8 病気等の緊急時にすぐに来てくれる人の有無

あなたが、急な怪我や病気などの時にすぐに来てくれる人はいますか。(はひとつ)

【図8 病気等の緊急時にすぐに来てくれる人の有無】

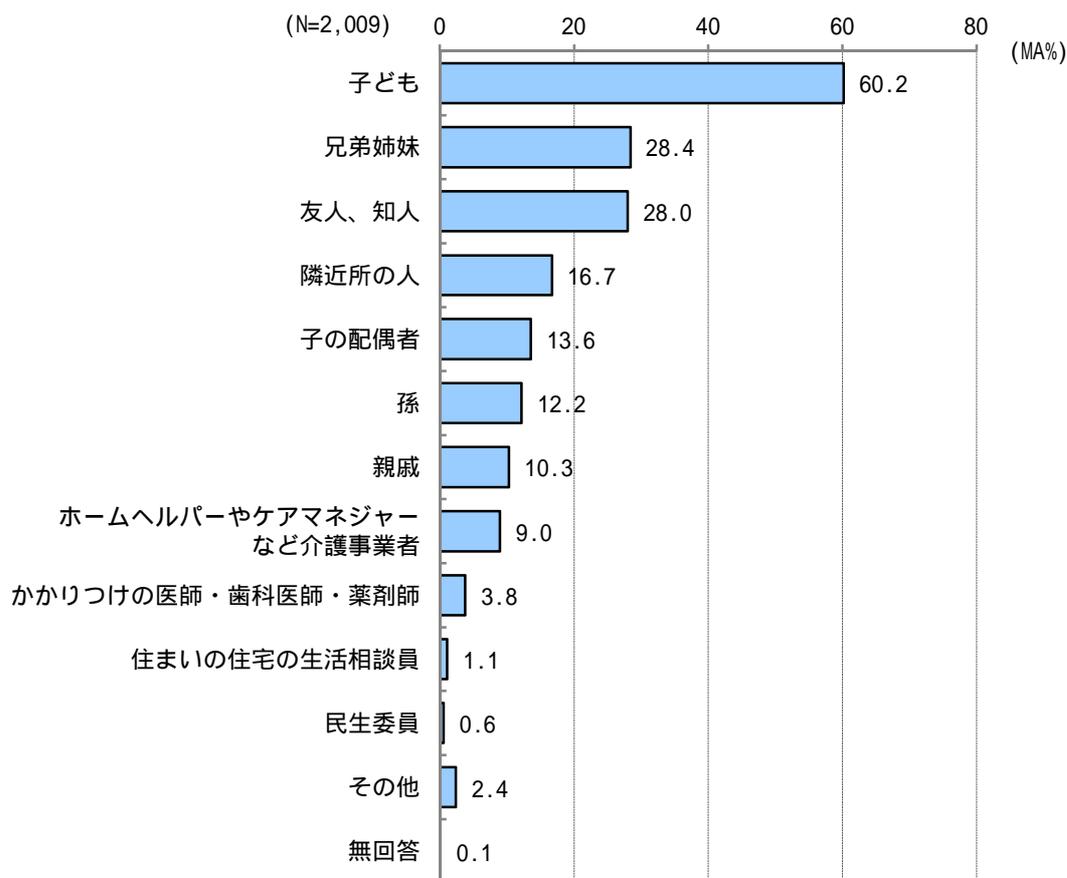


ひとり暮らし世帯の回答者の、病気等の緊急時にすぐ来てくれる人の有無では、「いる」が64.9%で、「いない」は12.1%となっている。(図8)

問 8-1 すぐに来てくれる方との関係

【問 8 で「 1 いる」と回答された方におうかがいします。】
その方は誰ですか。(はいくつでも)

【図8-1 すぐに来てくれる方との関係】

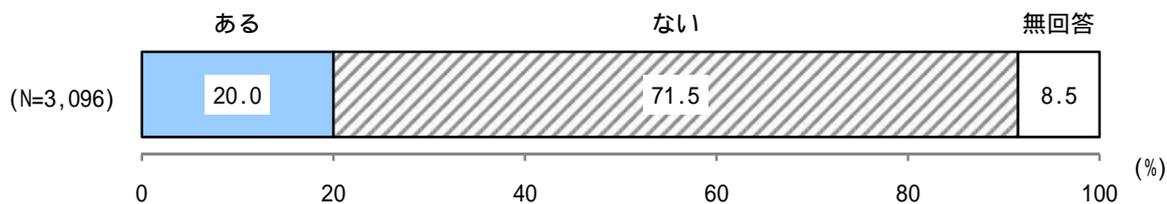


病気等の緊急時にすぐ来てくれる人がいると回答した人に、すぐに来てくれる方についてたずねると、「子ども」が60.2%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」(28.4%)、「友人、知人」(28.0%)となっている。(図8-1)

問9 直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるか

この一年間にけがや病気などで3日以上、身体的介護や生活介護が必要な状態になったことがありますか。(はひとつ)

【図9 直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるか】



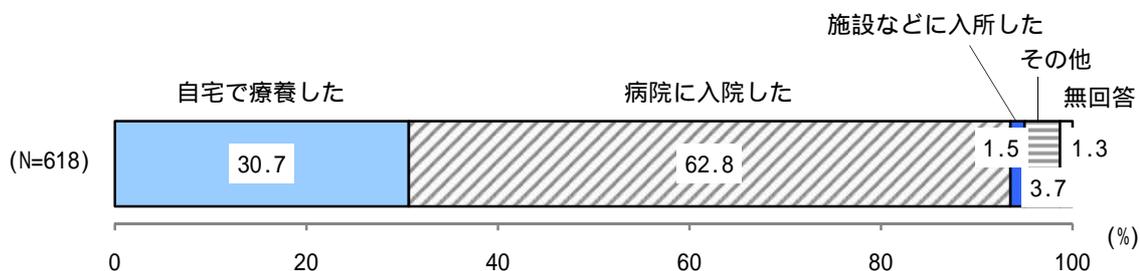
ひとり暮らし世帯の回答者の、直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるかについては、「ある」が20.0%で、「ない」は71.5%となっている。(図9)

問9-1 介護を要した際、どこで療養したか

【問9で「1 ある」と回答された方におうかがいします。】

その時、どこで(どのように)療養されましたか(介護保険制度によるサービスを受けた場合を除く)。複数回療養された場合は、最も長い期間療養されたときのことについて、お答えください。(はひとつ)

【図9-1 直近1年間で、3日以上介護が必要になったことがあるか】



介護が必要になったことがあると回答した人に、どこで(どのように)療養したかについては、「病院に入院した」が62.8%で最も多く、次いで「自宅で療養した」が30.7%となっている。(図9-1)

調査内容についてのご意見や、その他お困りごと

ここまでこの調査でお聞きした調査内容についてのご意見や、その他お困りごとなどがありましたらお教えてください。

最終報告書にて掲載

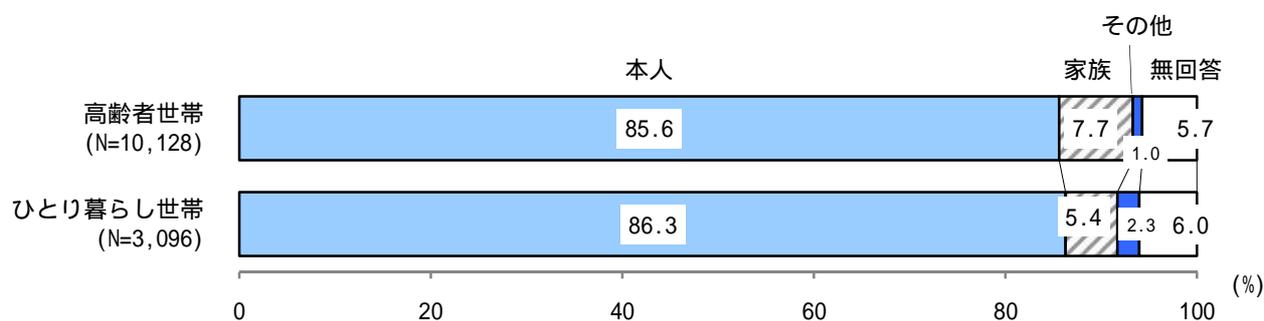
本人調査における

「ひとり暮らし世帯」回答結果

(2) 本人調査における「ひとり暮らし世帯」回答結果(世帯比較)

問1 調査票記入者

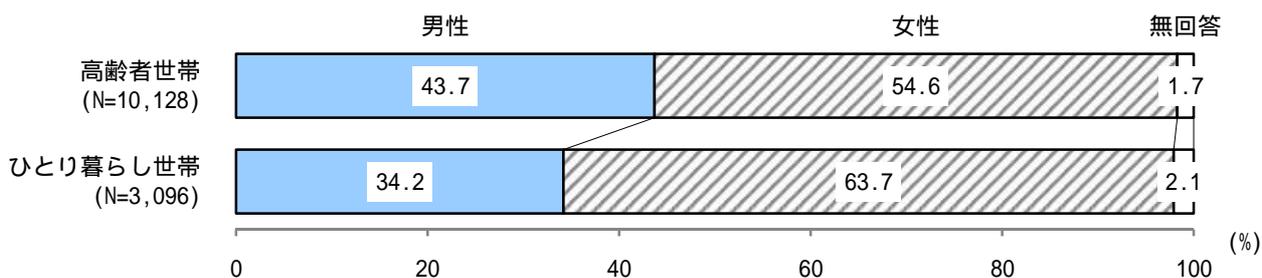
【図1 調査票記入者(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の「調査票記入者」は、86.3%が「本人」となっており、高齢者世帯全体よりやや高い。(図1)

問2 (1) 性別

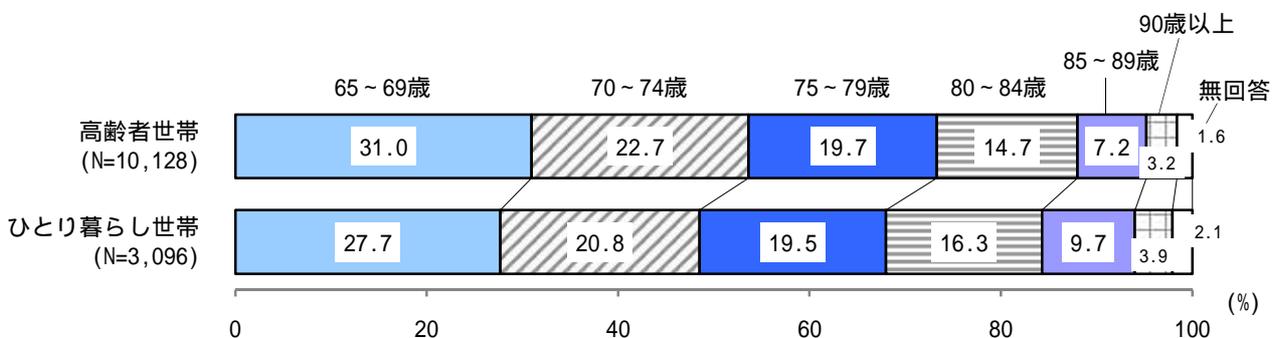
【図2(1) 調査回答者の性別(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の「性別」については、「男性」が34.2%、「女性」が63.7%となっており、高齢者世帯全体より「女性」の割合が1割程度高くなっている。(図2(1))

問2 (2) 年齢

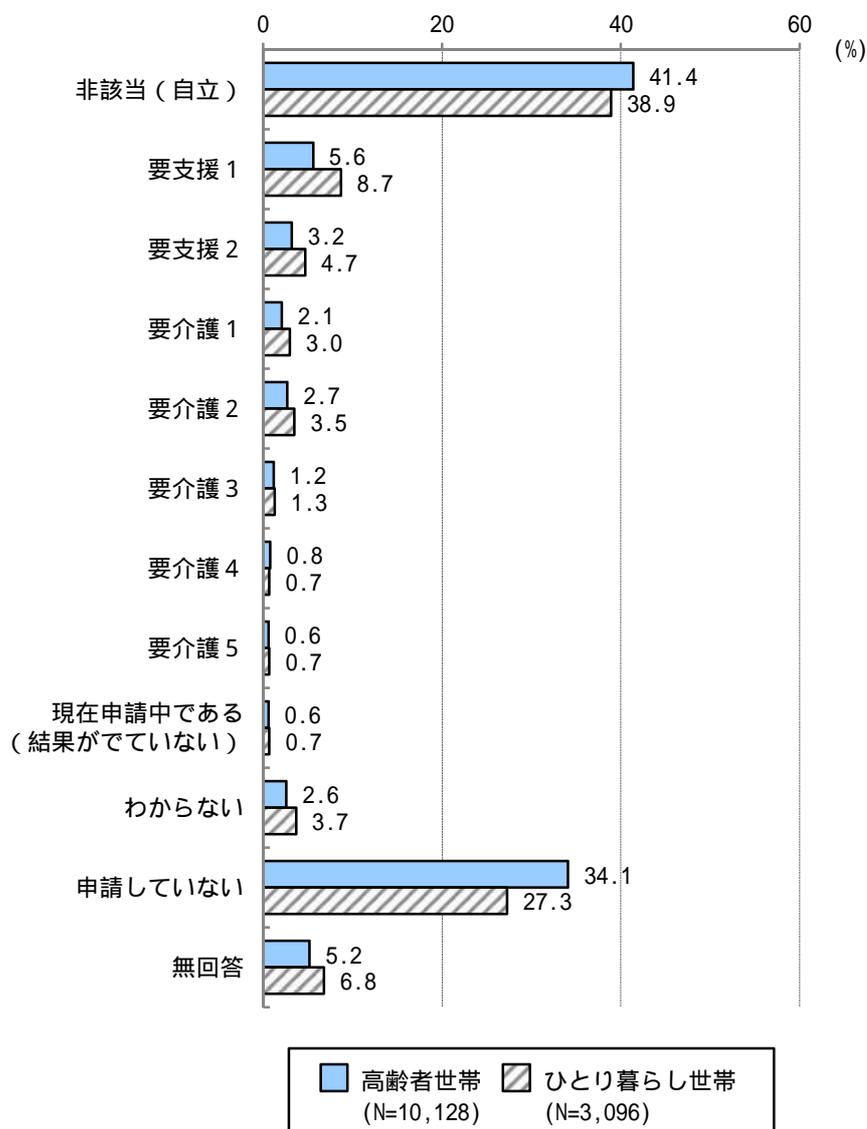
【図2(2) 調査回答者の年齢(世帯比較)】



ひとり暮らし世帯の回答者の「年齢」については、前期高齢者(65~74歳)が48.5%、後期高齢者(75歳以上)が49.4%となっており、高齢者世帯全体と比べ、前期高齢者の割合がやや低く、後期高齢者の割合がやや高くなっている。(図2(2))

問4 介護保険の申請・認定の状況

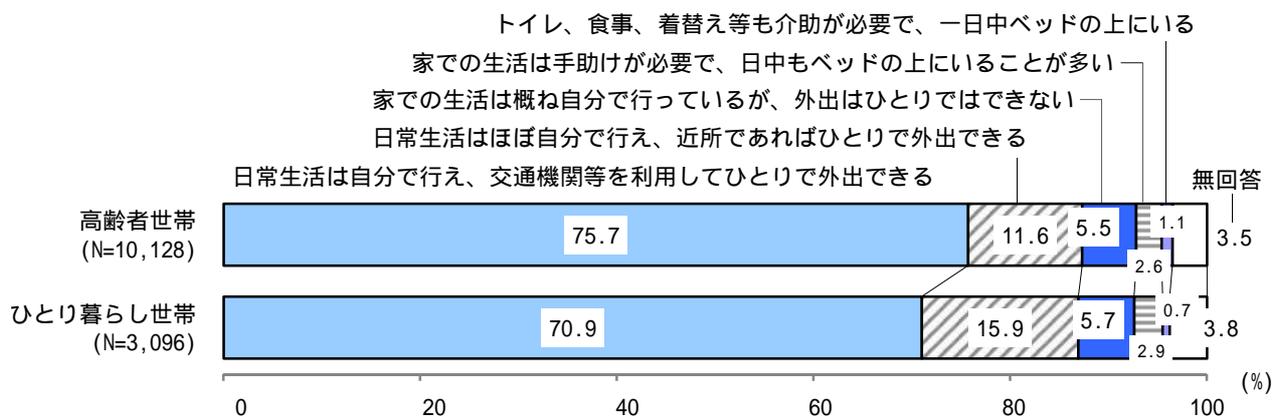
【図4 介護保険の申請・認定の状況（世帯比較）】



ひとり暮らし世帯の回答者の「介護保険の認定申請及び認定状況」については、「非該当(自立)」が最も多く38.9%であり、次いで「申請していない」が27.3%となっている。高齢者世帯全体と同様の傾向であるが、「要支援1」から「要介護3」までは、高齢者世帯全体に比べてひとり暮らし世帯の方が回答割合がやや高くなっている。(図4)

問5 日常生活動作・日常的な活動の状況

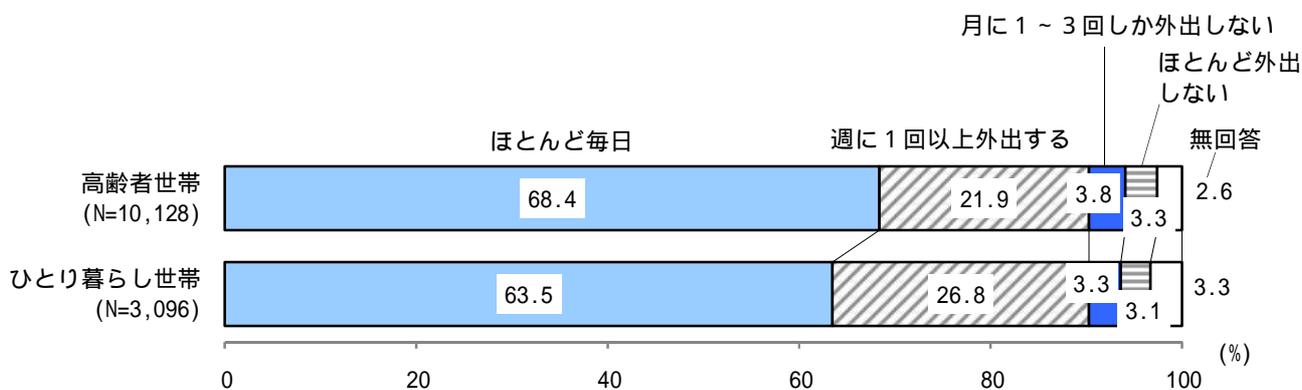
【図5 日常生活動作・日常的な活動の状況】



ひとり暮らし世帯の回答者の「日常生活動作・日常的な活動の状況」は、「日常生活は自分で行え、交通機関等を利用してひとりで外出できる」が最も多くなっているが、高齢者世帯全体よりはやや低い割合となっている。「日常生活はほぼ自分で行え、近所であればひとりで外出できる」をあわせた『日常生活はほぼ自分で行え、外出ができる』の割合は、ひとり暮らし世帯、高齢者世帯全体とも87%程度であり、高齢者世帯全体よりやや低い。(図5)

問6 外出の頻度

【図6 外出の頻度】



ひとり暮らし世帯の回答者の「外出の頻度」については、「ほとんど毎日」が最も多いが、高齢者世帯全体と比べると、回答割合がやや少ない。「週に1回以上外出する」については、ひとり暮らし世帯の方がやや高くなっており、「ほとんど毎日」を含めた『週1回以上外出する』方の割合は、高齢者世帯全体、ひとり暮らし世帯とも90.3%となっている。(図6)